

令和7年度福島県文化功労賞受賞者について

多年にわたり本県文化の向上に著しい業績を表した個人を表彰する令和7年度福島県文化功労賞に、下記2名が決定しました。

なお、表彰式は、令和7年11月3日（月・祝）文化の日に杉妻会館「牡丹」で行う予定です。

記

（氏名50音順）

部門	分野	氏 名（本名）	役 職 等	住 所
教育	社会教育	きたみ けん 鬼多見 賢	福島県環境アドバイザー	猪苗代町
長年にわたり自然環境保護の専門家として、福島県自然保護指導員、福島県川の案内人、福島県教育庁職員特別講師、福島県環境アドバイザーなどを務めている。 また、小学生を対象とした環境学習会等の講師を務めるなど、若年層への環境教育に尽力している。 さらに、「猪苗代湖の自然を守る会」を母体として水生植物「ヒシ」に着目し、その回収活動を地域住民、地元企業、小中高生など多くのボランティアの参加と共感を得て活動を継続的に展開するなど、県民が一体となった水環境保全活動を牽引しており、地域環境や県全体の環境保全に貢献している。				

部門	分野	氏 名	役 職 等	住 所
体育	スポーツ	さとう でんいち 佐藤 傳一	福島県馬術連盟 顧問	伊達市
昭和39年、第18回東京オリンピック大会日本代表選手であり、国民体育大会では選手（兼監督）として、連続25回出場し、13度の優勝を果たした。 また、第50回福島国体では、強化委員長として、優秀な競技馬の確保、強化選手の県内選抜、指導体制の確立を図り、本県馬術競技の3度目の総合優勝と大会の成功に貢献するなど、日本馬術競技界を代表する選手・指導者として活躍した。 さらに、自ら選手として活躍する一方、獣医の立場から熟知した馬術の競技力の向上に貢献し、名選手を数多く育成するとともに、福島県馬術連盟会長及び日本馬術連盟副会長を歴任し、本県のみならず日本における馬術競技の普及と発展に大きく寄与した。				